

バドミントン活動時のチェックリスト（生徒選手向け）

茨城県高体連バドミントン専門部

- 会場までのマスク着用を徹底する。
- 大会当日に検温を行い、体調に不安のないことを確認の上、顧問に「健康チェックシート兼参加同意書」を提出する。（体調は個人差があります。無理に参加しないこと）
- 体調に異変を感じた時は、大会参加を見送る。棄権する際は、会場に足を運ばずメール及び電話等で連絡する
- ラケットやタオル・ドリンク等は個人のものを用意し、使用する。
- 靴箱の利用を禁止する。下足は各自のビニール袋等に入れて自己管理をする。
- 過密になっていないか、常に注意する。
- 観戦は指定された場所で距離を確保して行き、過度な移動はしない。
- マスクは試合以外では、なるべく着用する。
- 会場では、人との間隔（フィジカルディスタンス）を維持する。
- ネットやポスト等の設備には、極力触れない。
- ウォーミングアップは、屋外で距離を空けて行う。
- 対戦前後の選手同士や審判員との握手は行わない。
- 各自バック等を持参し、ドリンクもバッグ等に収容する。
- ラケットやタオル・ドリンク等の貸し借りをしない。
- 汗を床に投げない。
- 汗や飲料をこぼした場合は、モップ等で拭き取る。（自身のタオルを使用して拭かない）
- シューズの裏を手で拭かない。
- コート内で、コーチやパートナーとの会話や接触を極力控える。
- 意識的に、試合中の声出しをしない。
- シャトルの受け渡しに、手を極力使わない。
- シャトルをむやみに顔へ近づけない。
- 他人のラケットやタオル・ドリンク等は触らない。
- 更衣室では更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- 飲食物の処理は、適切な場所で行う。（残飯等は自宅に持ち帰る）
- 試合が終了したら、速やかに帰宅する。
- 帰宅中もマスク着用を徹底する。